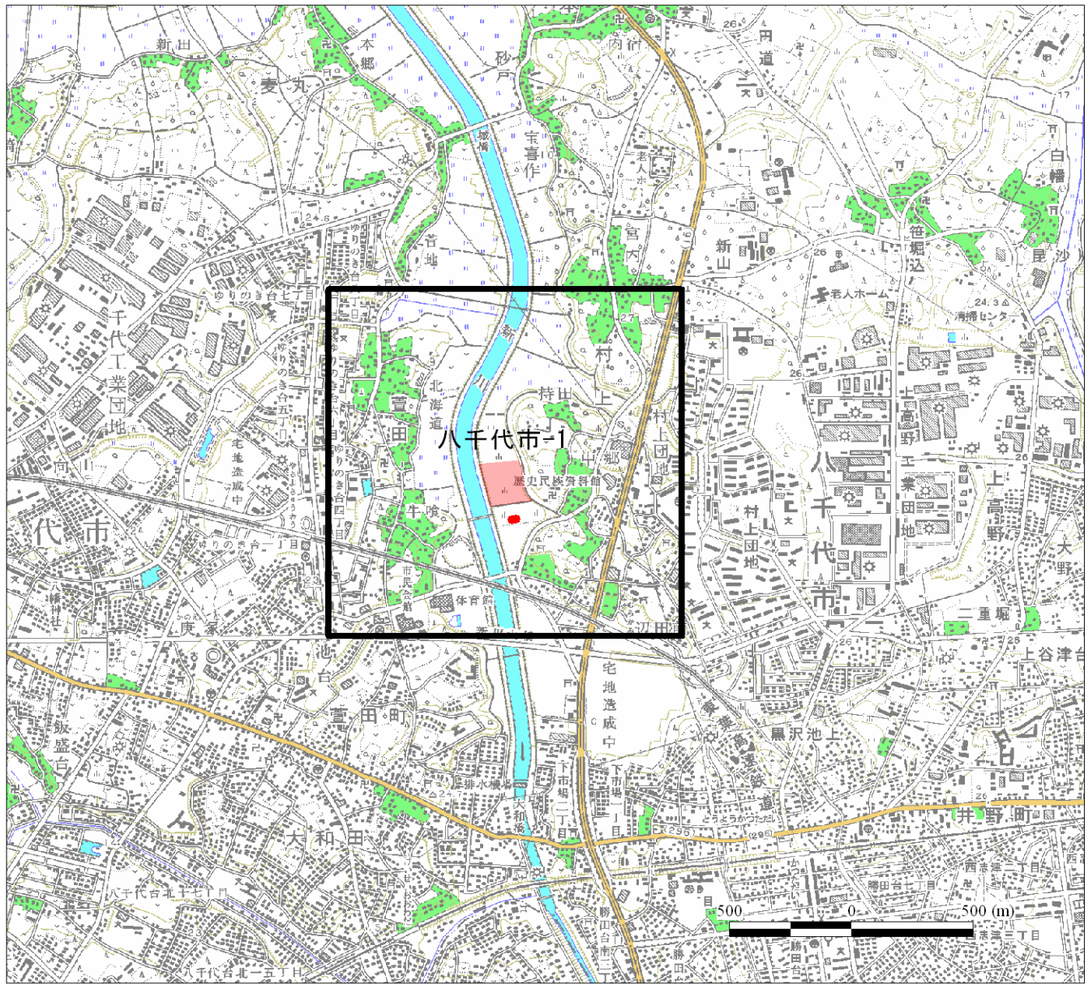
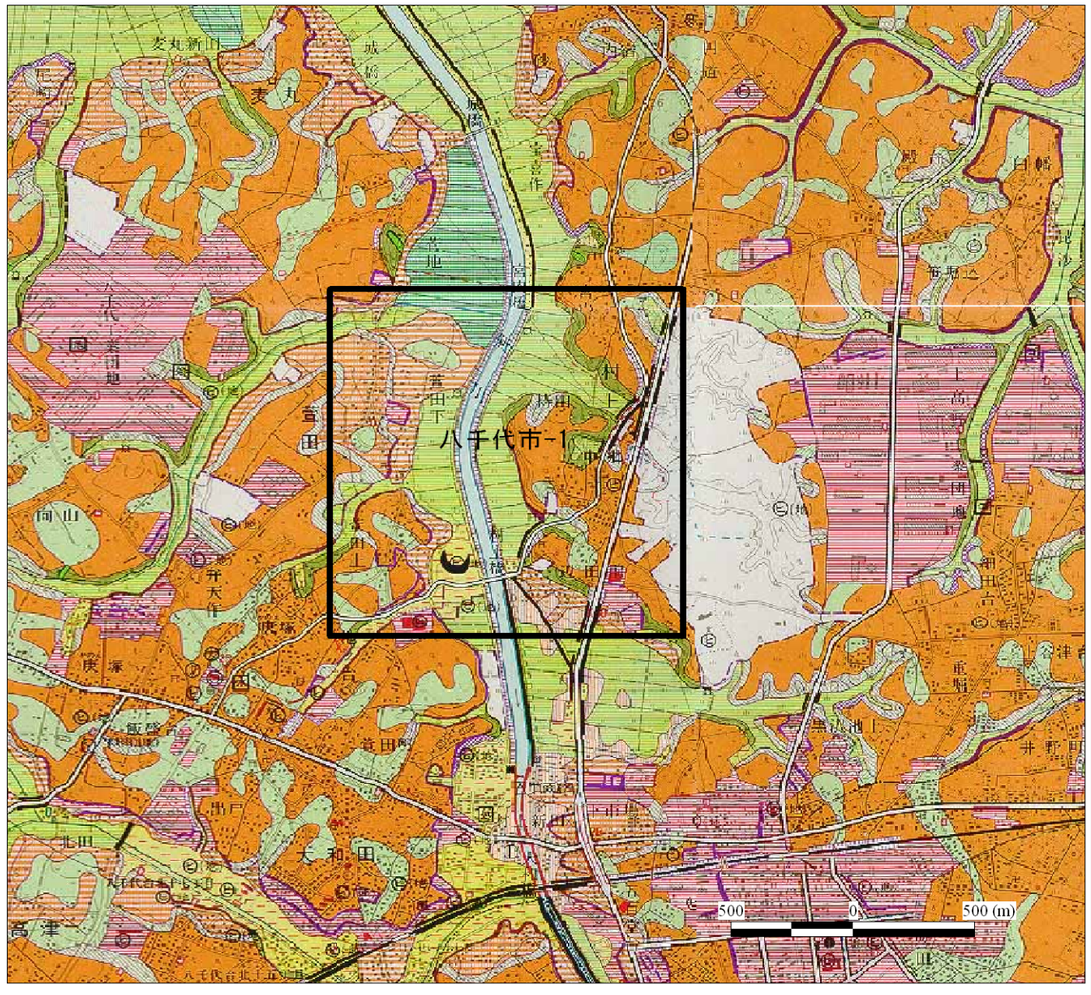
箇所名	八千代市-1		都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上	1/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野		液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1989年頃水田を造成								
被害概要	新川左岸ゆらゆら橋付近の空地に噴砂を確認								
噴砂の状況	噴砂丘数個が点在		地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

平面図 （赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）



土地条件図

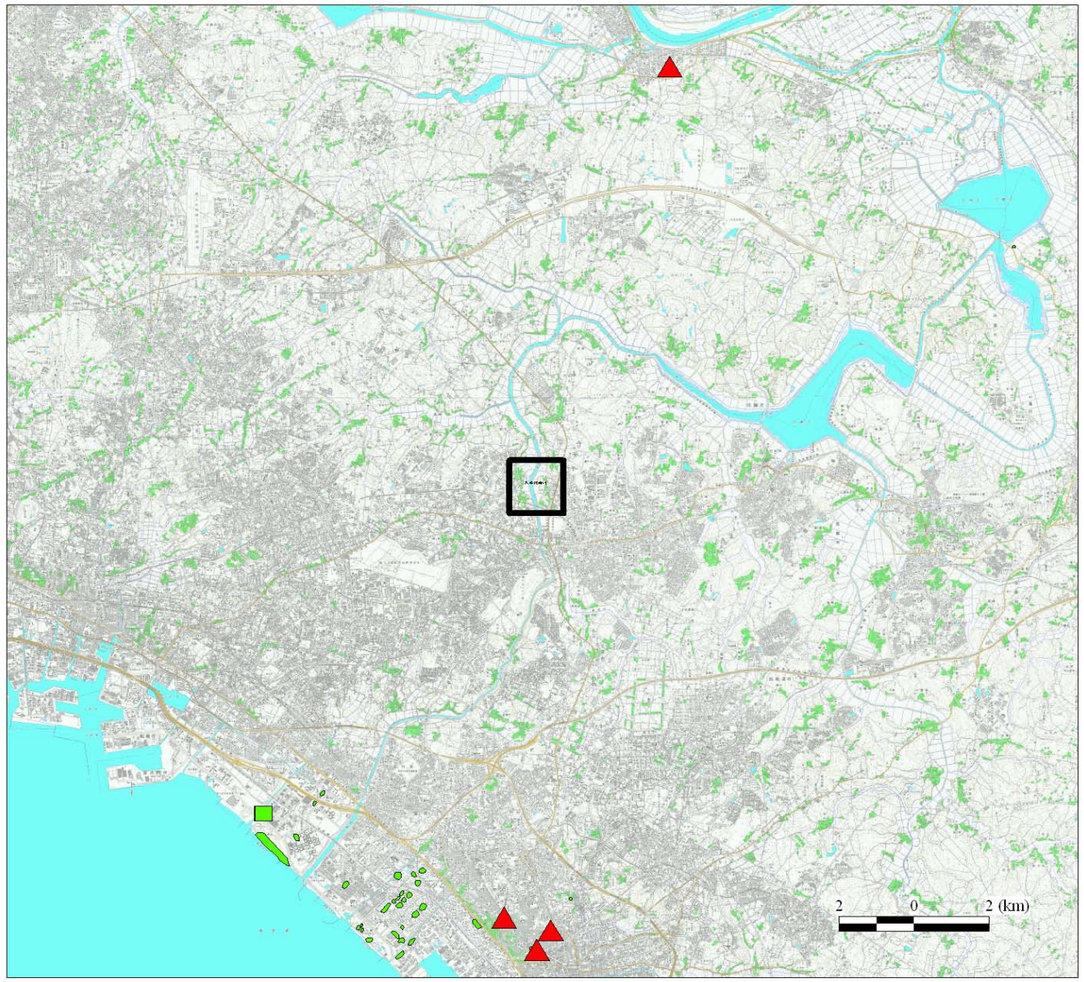


1979年頃
国土地理院HP

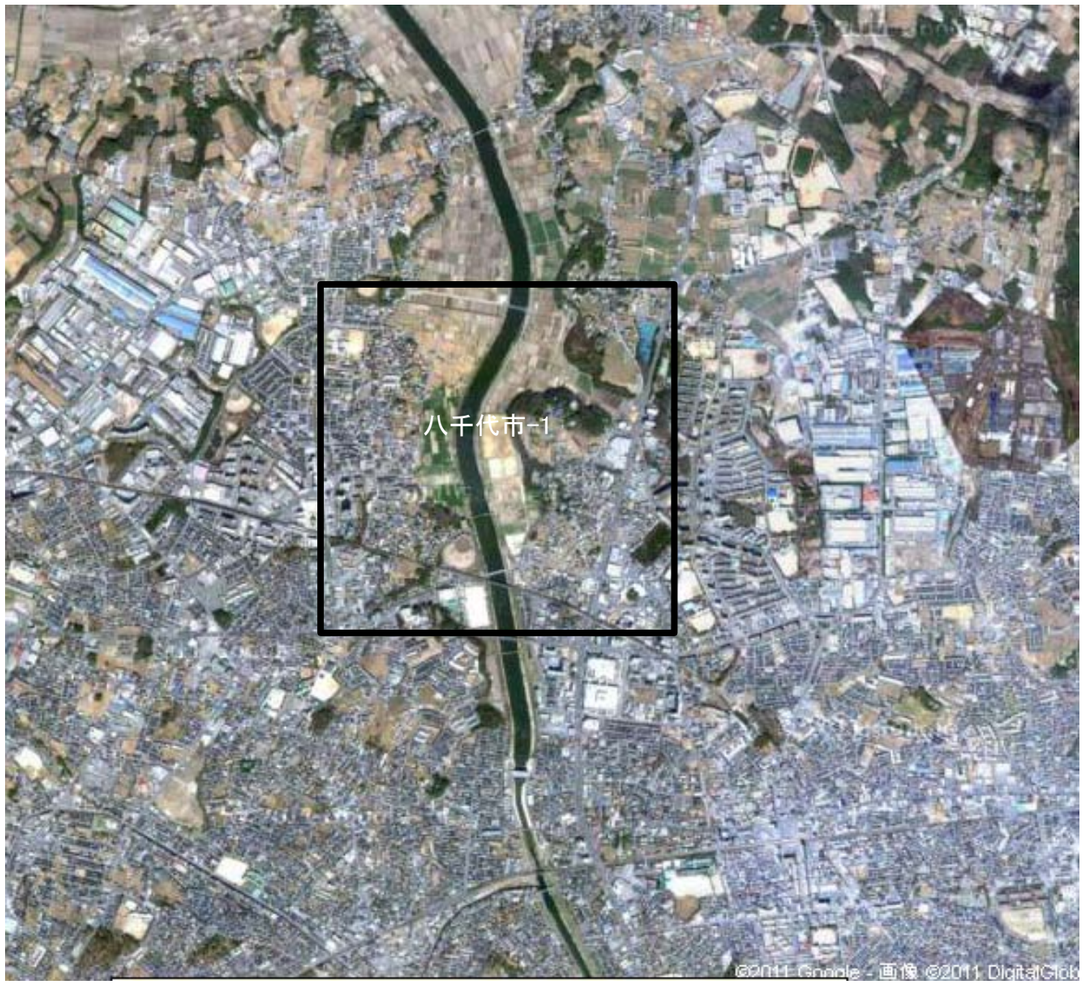
1989年頃
国土地理院HP

箇所名	八千代市-1		都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上	2/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野		液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1989年頃水田を造成								
被害概要	新川左岸ゆらゆら橋付近の空地に噴砂を確認								
噴砂の状況	噴砂丘数個が点在		地盤の変形量(沈下、傾斜)		小		被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

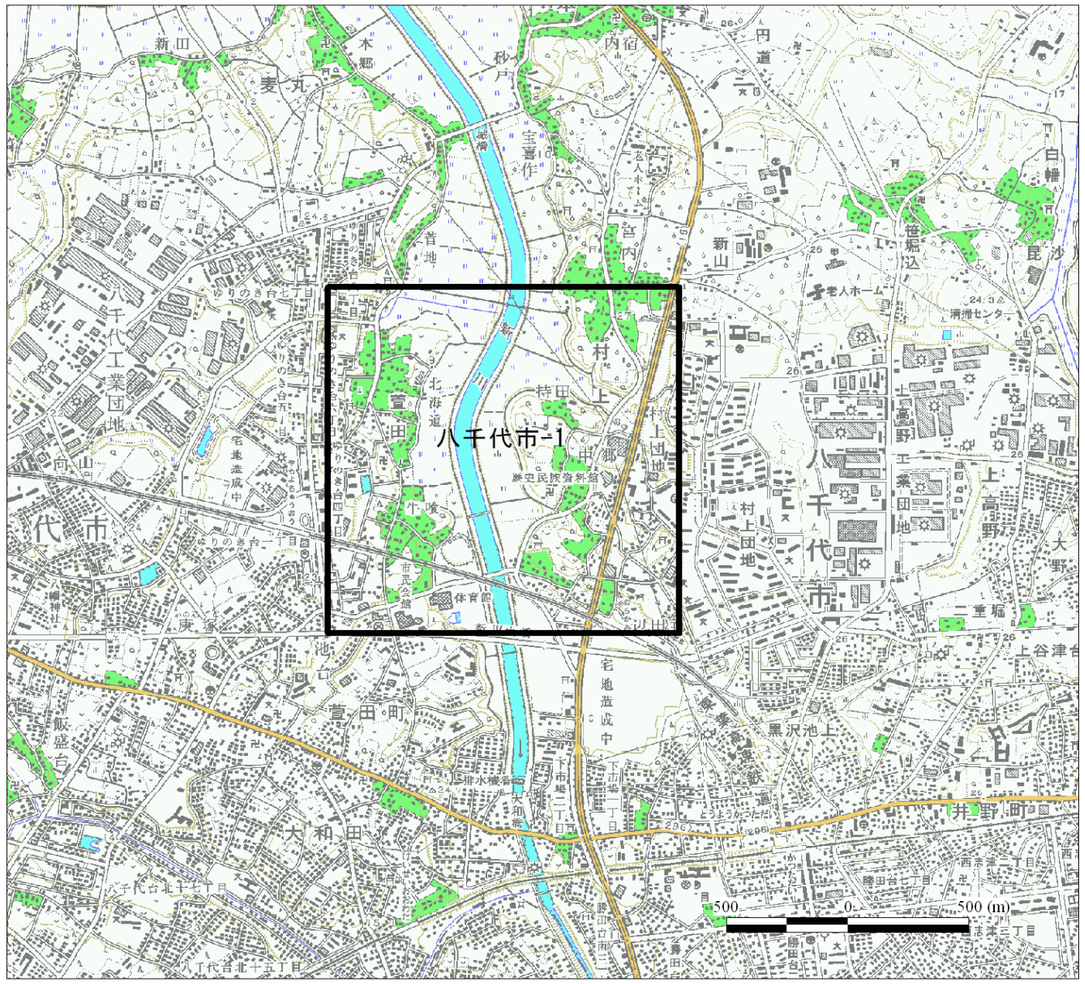


航空写真(googleマップ2011/3/31版)

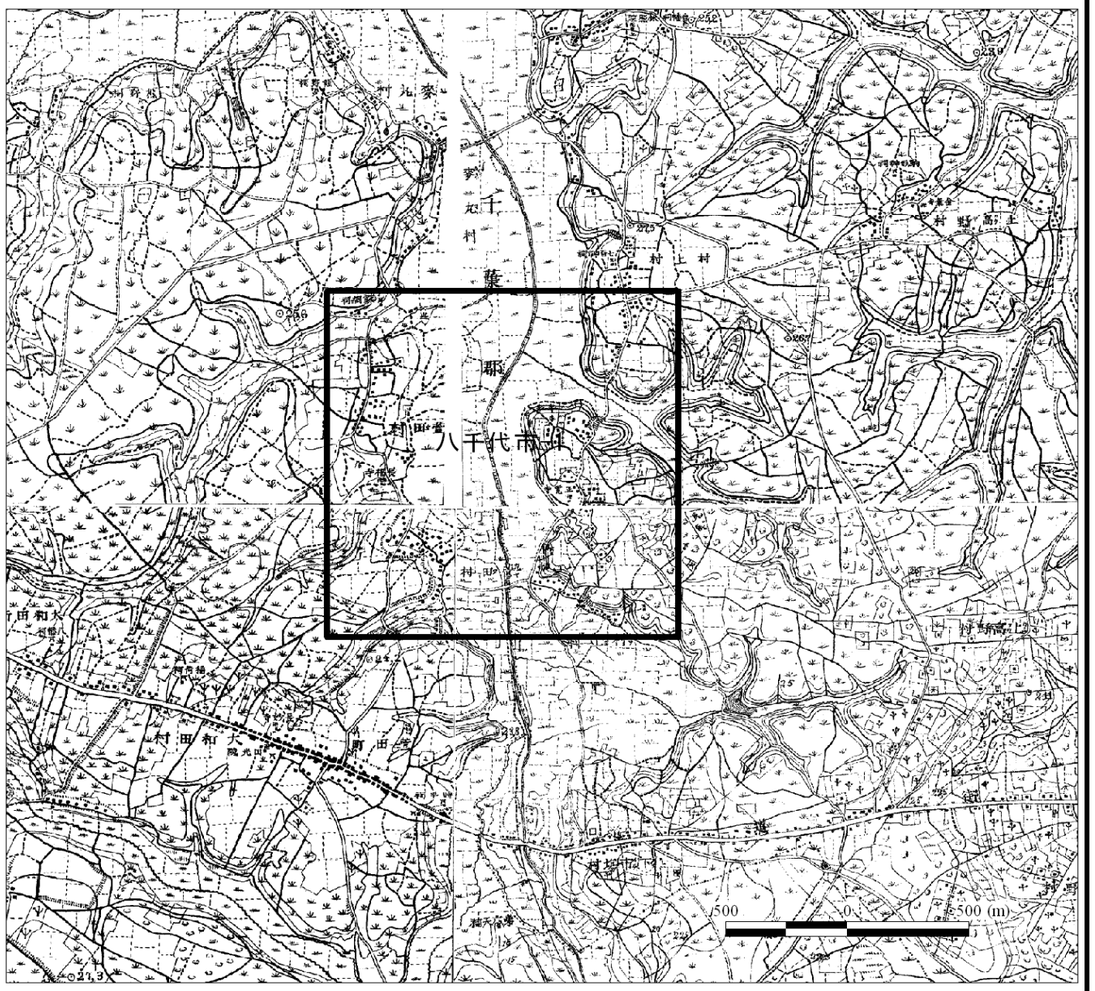


箇所名	八千代市-1		都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上	3/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野		液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1989年頃水田を造成								
被害概要	新川左岸ゆらゆら橋付近の空地に噴砂を確認								
噴砂の状況	噴砂丘数個が点在		地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

地形図(数値地図25000)

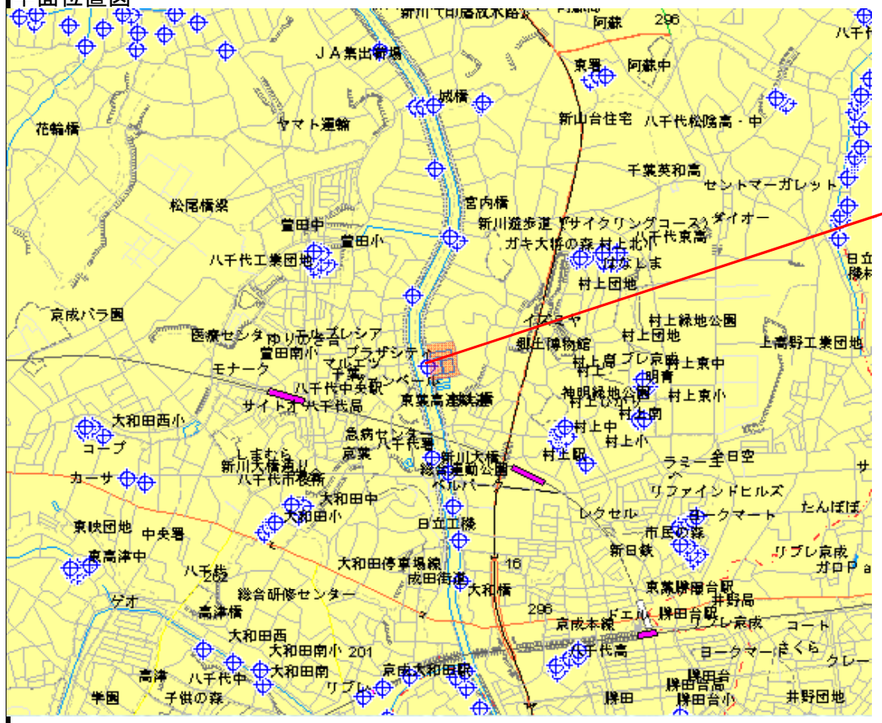


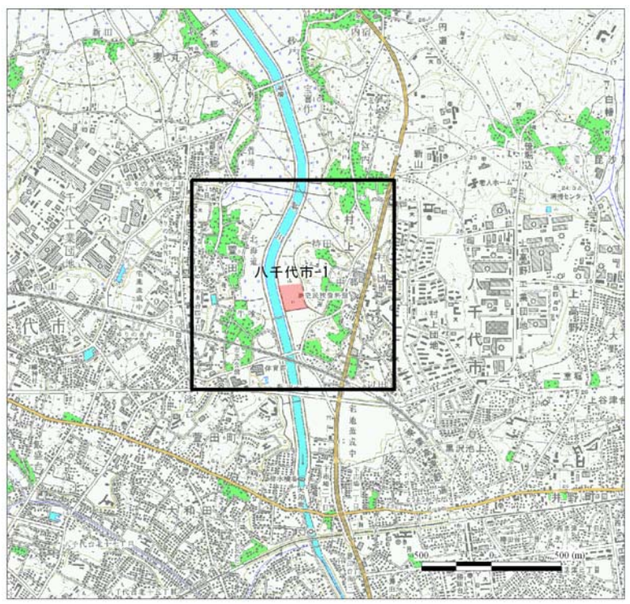
1/20000迅速図:明治15年測量



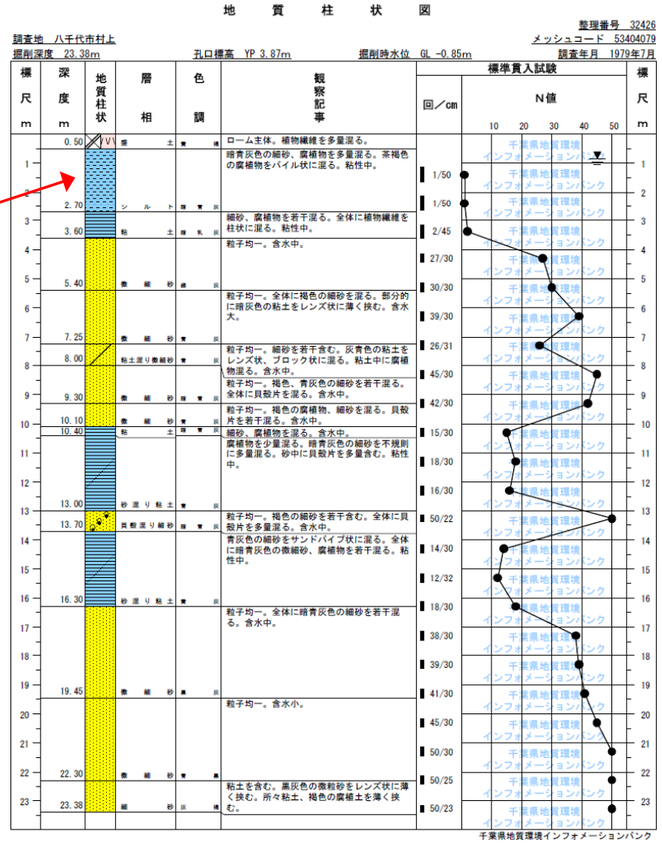
箇所名	八千代市-1		都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上	4/6
地下水位	GL-0.85m	液状化対象層(層厚、深度)	Bs,As,Asc　GL-0～8.0m(層厚8.0m)						
湿潤密度 ρt		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip			
平均N値	1～39	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr			
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL					

平面位置図





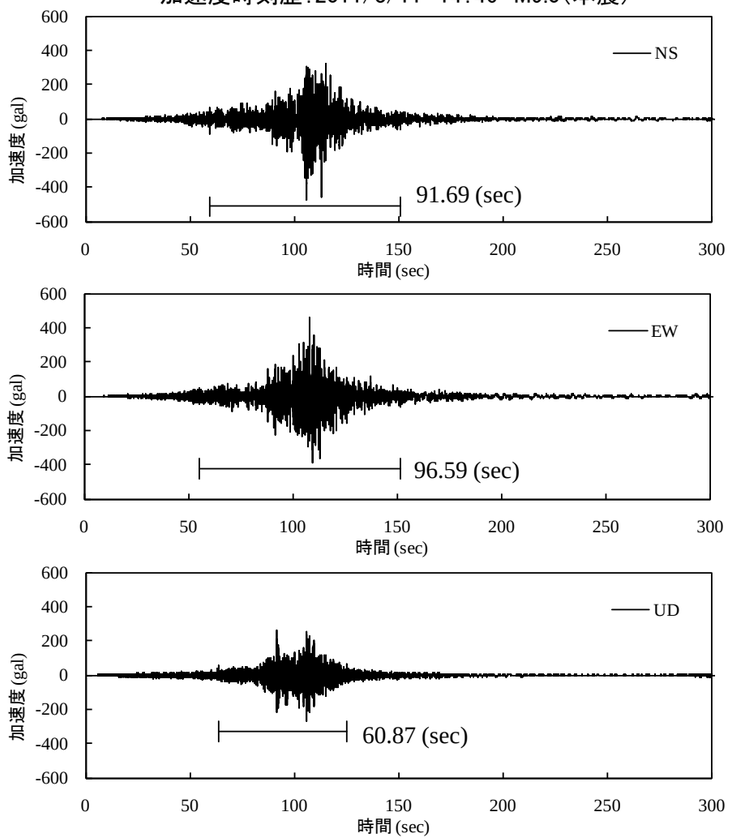
柱状図1



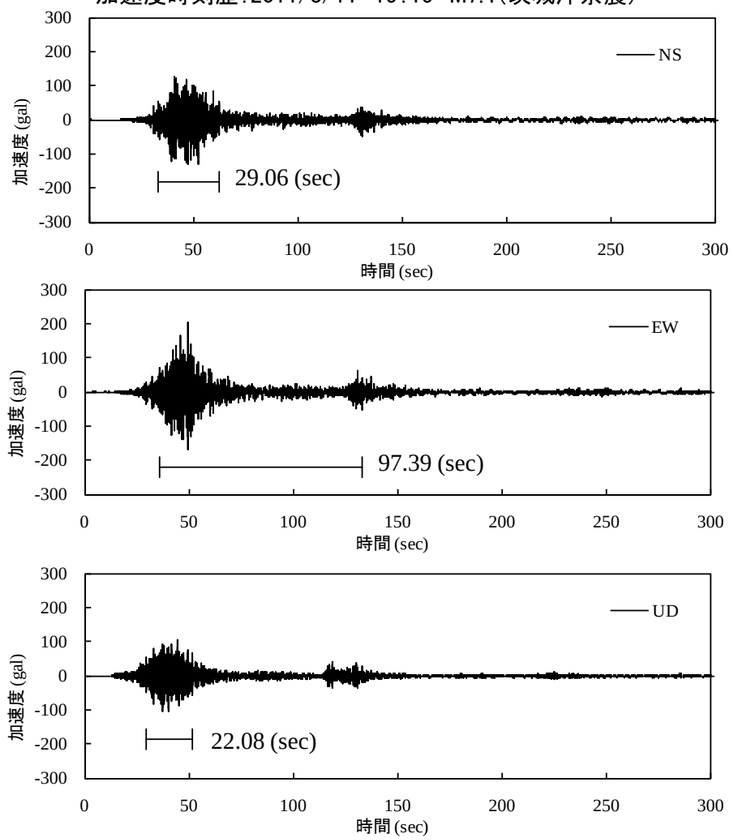
出典：千葉県地質環境インフォメーションバンク

箇所名	八千代市-1	都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上					5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET白井(CHB003)	対象地点との距離(km)	8.9	最大加速度(gal)	485.9	最大速度(kine)	37.3	継続時間(50gal以上)(s)		96.59
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)						209.5		17.0			97.39
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5強	出典	防災科学技術研究所HP					

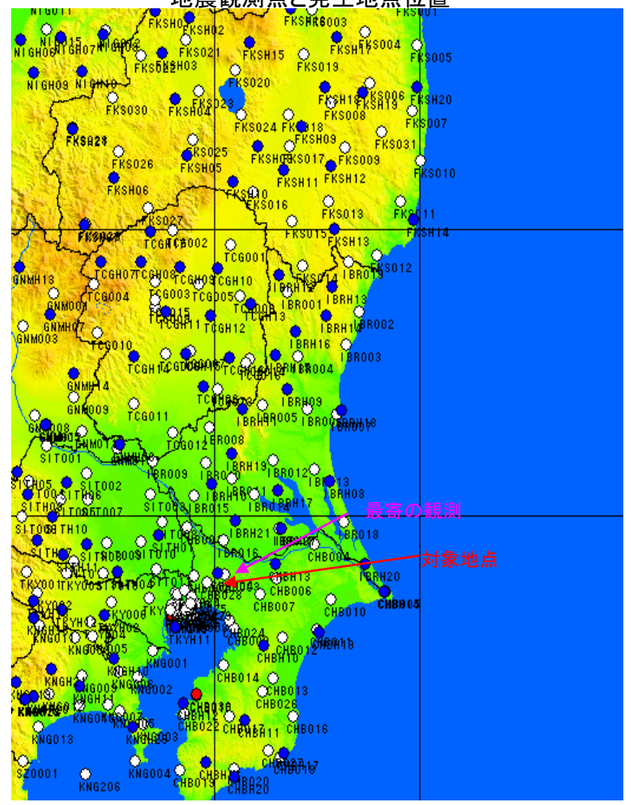
加速度時刻歴:2011/3/11 14:46 M9.0(本震)



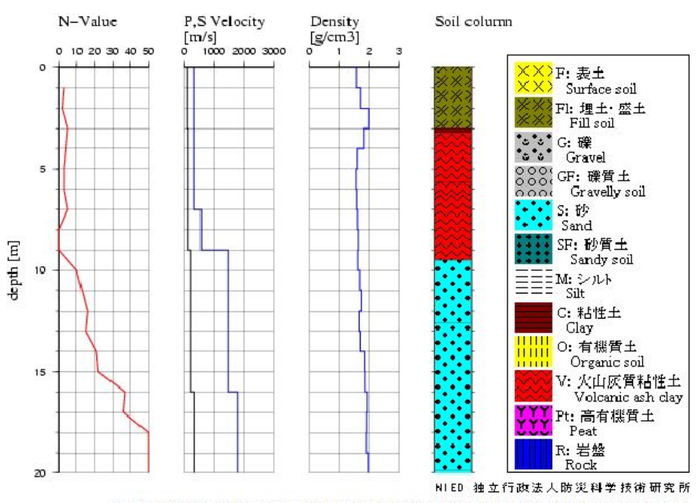
加速度時刻歴:2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)



地震観測点と発生地点位置

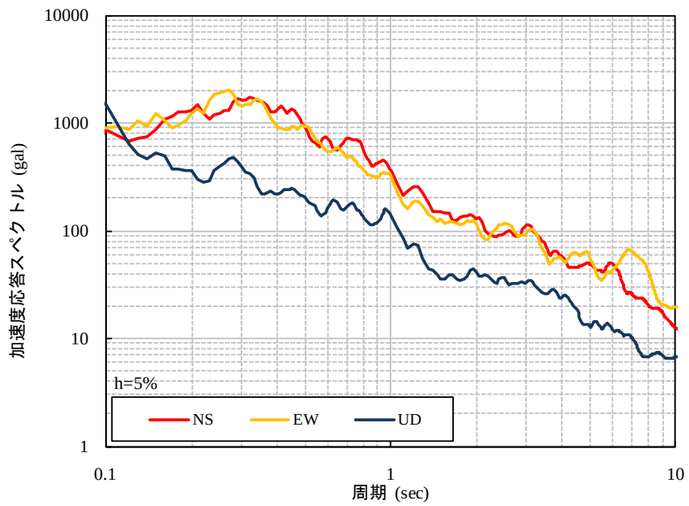


観測点の地盤条件

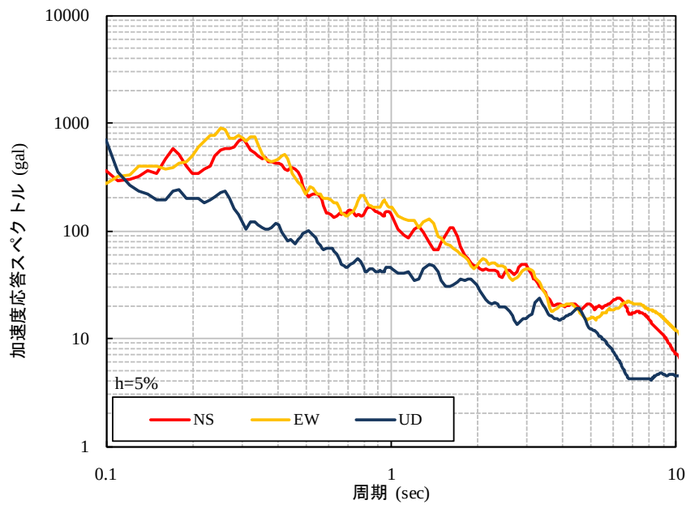


NIED 独立行政法人防災科学技術研究所
Copyright (c) National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention, All rights Reserved.

加速度応答スペクトル:2011/3/11 14:46 M9.0(本震)



加速度応答スペクトル:2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)

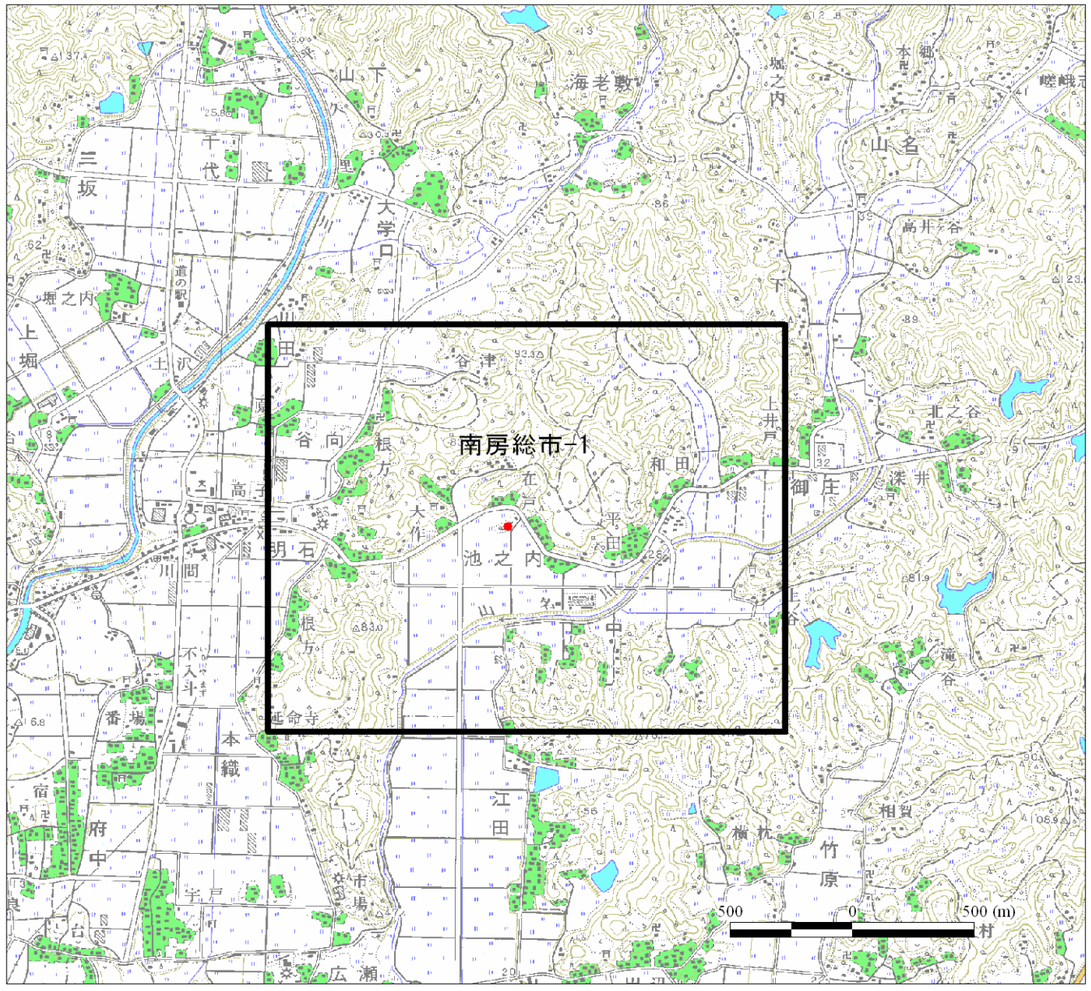


箇所名	八千代市-1	都道府県	千葉県	市区町村	八千代市	地区	村上	6/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野	液状化発生履歴	液状化発生の履歴なし			
土地改変履歴	1989年頃水田を造成							
被害概要	新川左岸ゆらゆら橋付近の空地に噴砂を確認							
噴砂の状況	噴砂丘数個が点在	地盤の変形量（沈下、傾斜）	小	被害の程度	小			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

基礎地盤コンサルタンツ㈱　2011/4/10

箇所名	南房総市-1	都道府県	千葉県	市区町村	南房総市	地区	池之内	1/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野	液状化発生履歴	1923関東大地震の際に付近で液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	新旧地形図の比較では大きな改変は見られず、小規模な造成とみられる							
被害概要	道路アスファルトに亀裂、県道のり面に小崩壊							
噴砂の状況	噴砂はシルトで噴出量は少ない	地盤の変形量（沈下、傾斜）	小			被害の程度	小	
出典・調査	千葉県環境研究センター、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

平面図 （赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）



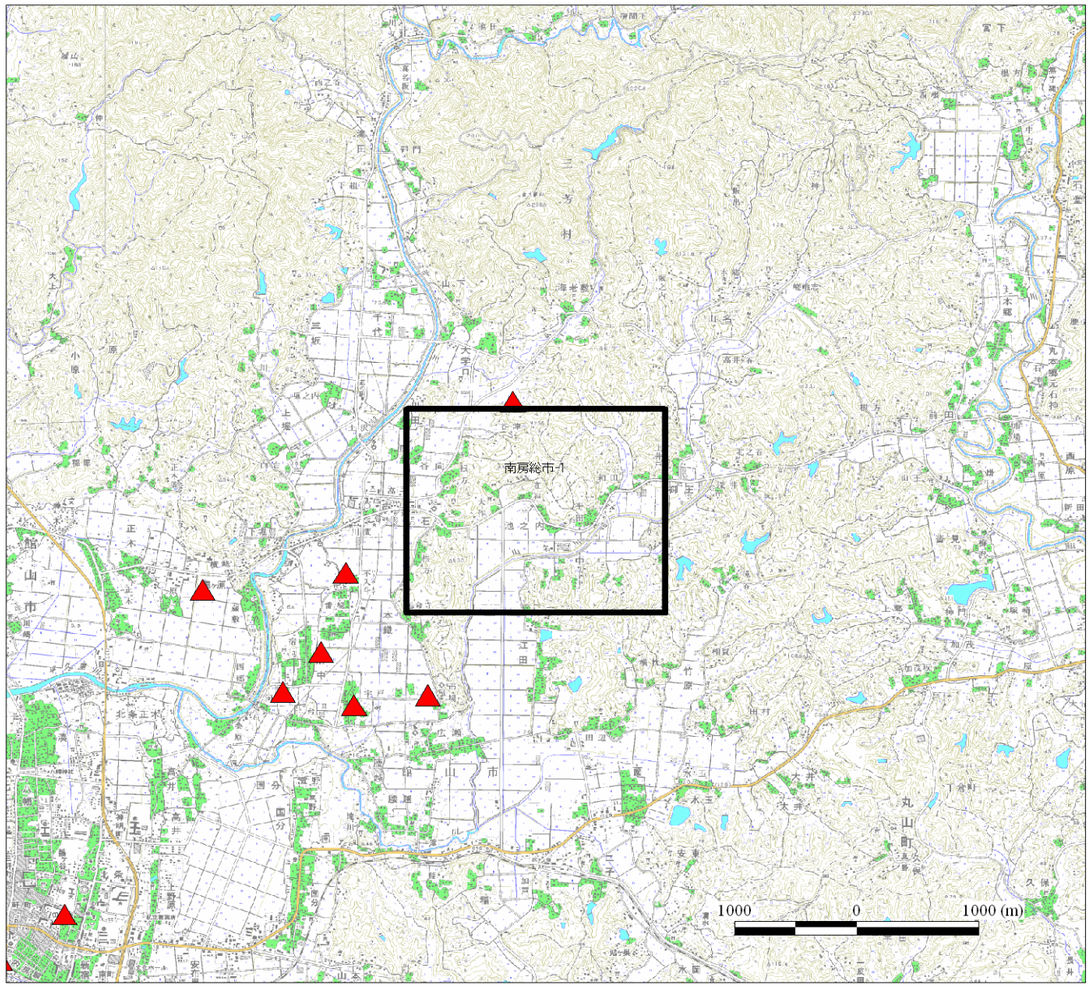
治水地形分類図・土地条件図

データなし

No.056

箇所名	南房総市-1		都道府県	千葉県	市区町村	南房総市	地区	池之内	2/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野		液状化発生履歴	1923関東大地震の際に付近で液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	新旧地形図の比較では大きな改変は見られず、小規模な造成とみられる								
被害概要	道路アスファルトに亀裂、県道のり面に小崩壊								
噴砂の状況	噴砂はシルトで噴出量は少ない		地盤の変形量（沈下、傾斜）	小			被害の程度	小	
出典・調査	千葉県環境研究センター、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

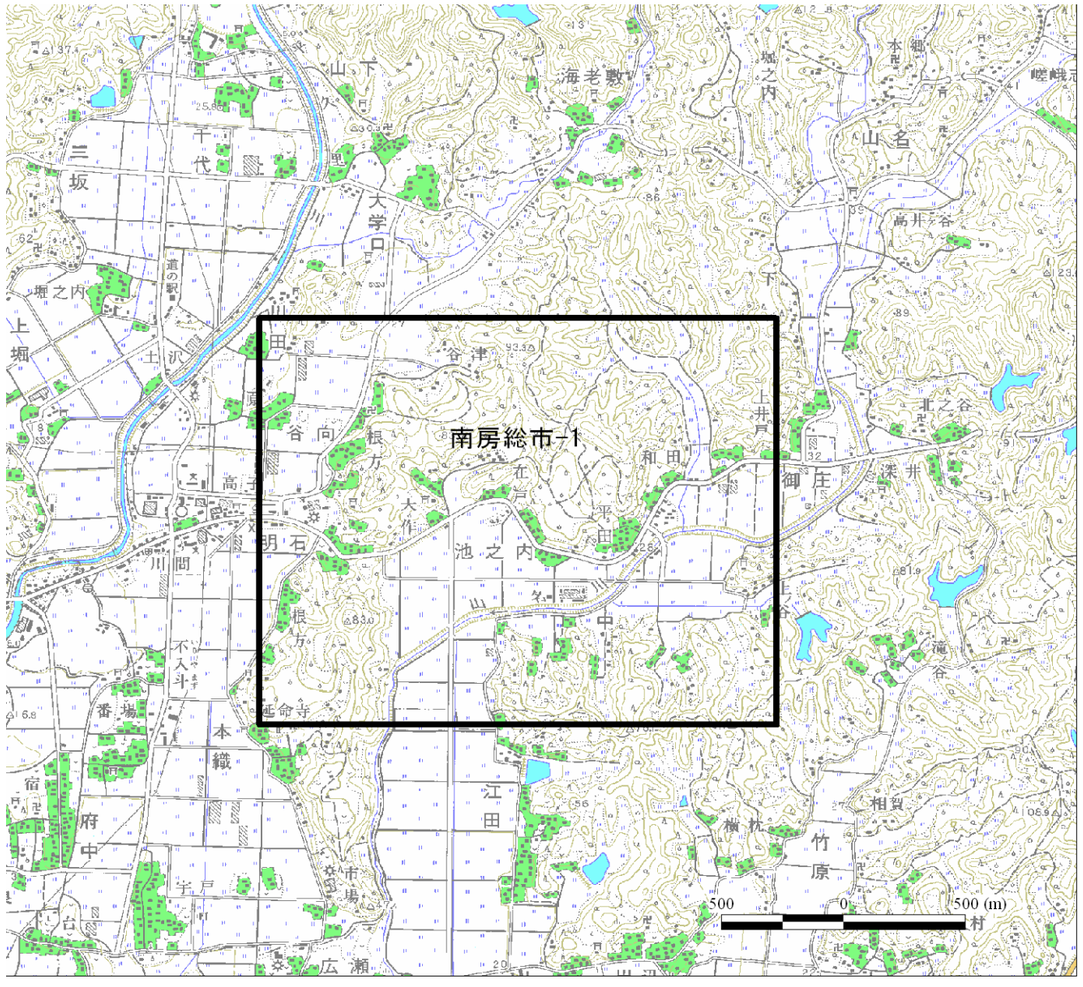
日本の液状化履歴マップ745-2008（若松加寿江著）



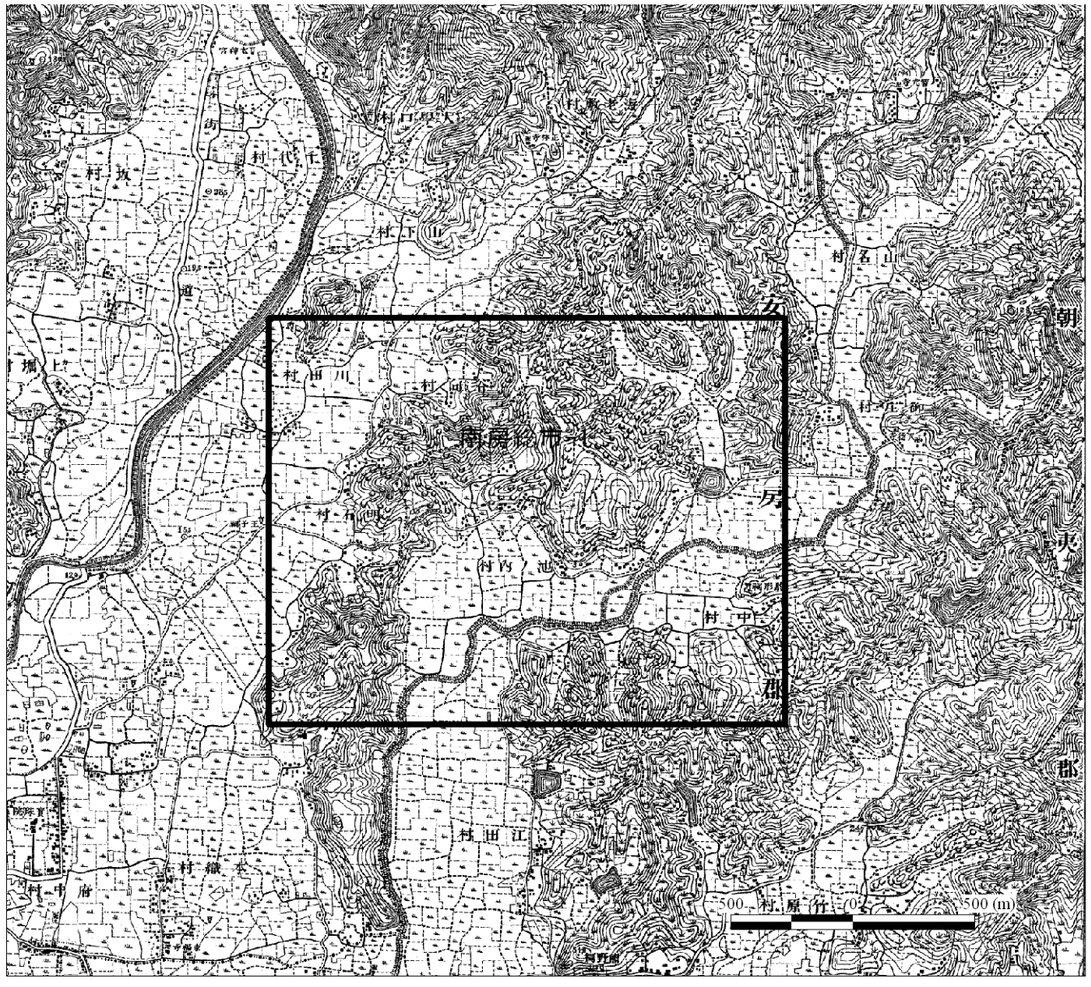
航空写真（googleマップ2011/3/31版）

箇所名	南房総市-1		都道府県	千葉県	市区町村	南房総市	地区	池之内	3/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野		液状化発生履歴	1923関東大地震の際に付近で液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	新旧地形図の比較では大きな改変は見られず、小規模な造成とみられる								
被害概要	道路アスファルトに亀裂、県道のり面に小崩壊								
噴砂の状況	噴砂はシルトで噴出量は少ない		地盤の変形量(沈下、傾斜)	小			被害の程度	小	
出典・調査	千葉県環境研究センター、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

地形図(数値地図25000)



1/20000迅速図:明治16年測量

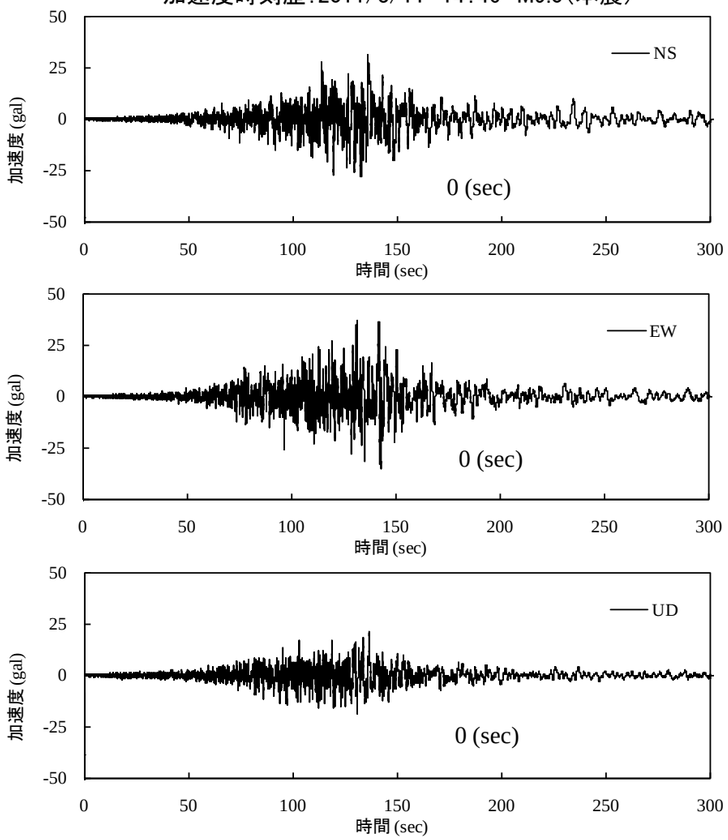


箇所名	南房総市-1	都道府県	千葉県	市区町村	南房総市	地区	池之内	4/6
地下水位		液状化対象層（層厚、深度）						
湿潤密度 ρt		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値		液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL				

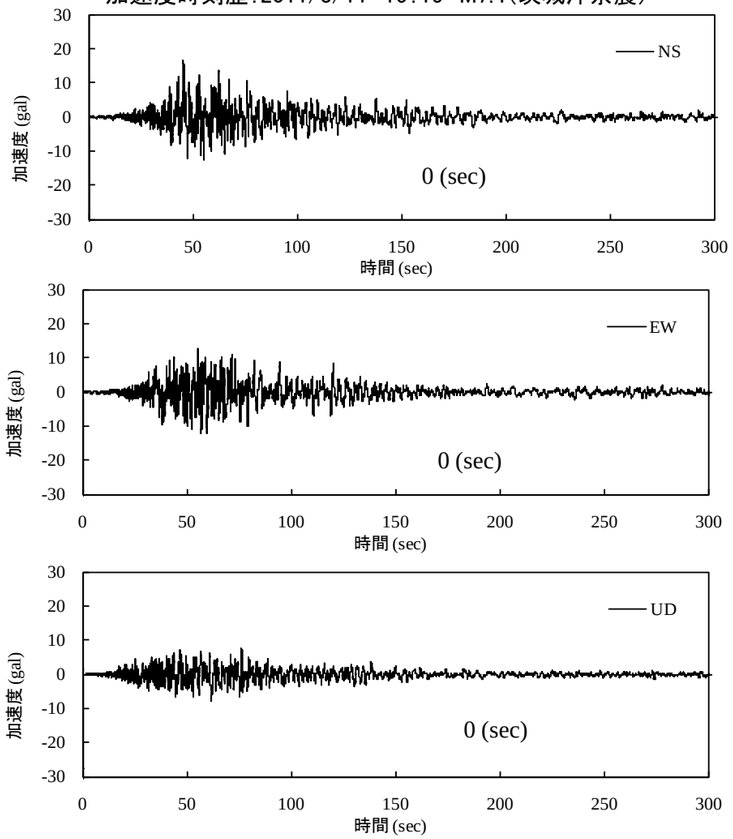
地盤データ未入手

箇所名	南房総市-1	都道府県	千葉県	市区町村	南房総市		地区	池之内				5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET千倉(CHB025)		対象地点との距離(km)	7.0	最大加速度(gal)	38.1	最大速度(kine)	22.8	継続時間(50gal以上)(s)	0.00
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)							17.6		9.9		0.00
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値					気象庁震度(本震)	5弱	出典	防災科学技術研究所HP				

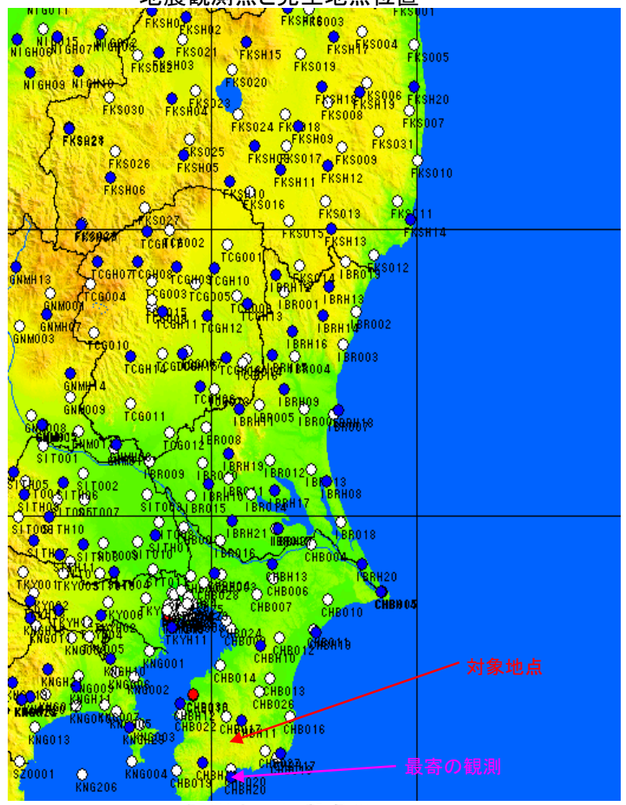
加速度時刻歴:2011/3/11 14:46 M9.0(本震)



加速度時刻歴:2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)

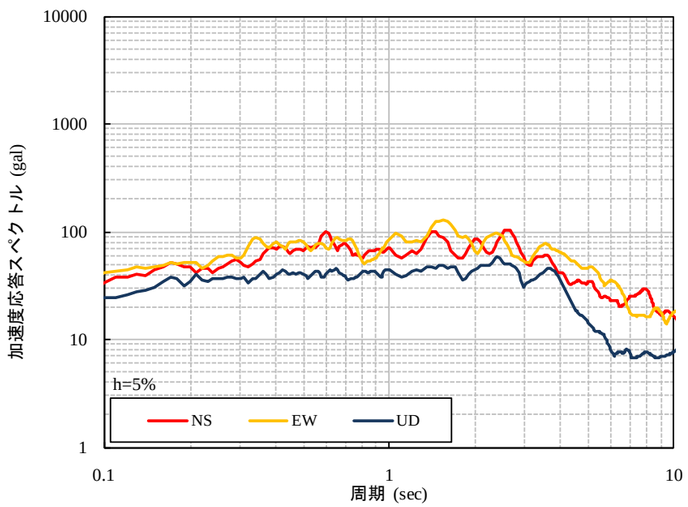


地震観測点と発生地点位置

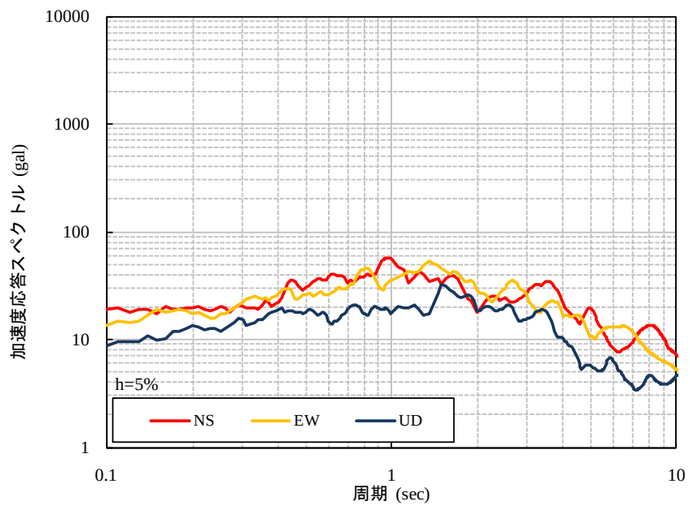


観測点の地盤条件

加速度応答スペクトル:2011/3/11 14:46 M9.0(本震)



加速度応答スペクトル:2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)



地盤条件の記載なし

箇所名	南房総市-1	都道府県	千葉県	市区町村	南房総市	地区	池之内	6/6
発生面積	小	地形分類	谷底平野	液状化発生履歴	1923関東大地震の際に付近で液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	新旧地形図の比較では大きな改変は見られず、小規模な造成とみられる							
被害概要	道路アスファルトに亀裂、県道のり面に小崩壊							
噴砂の状況	噴砂はシルトで噴出量は少ない	地盤の変形量（沈下、傾斜）	小			被害の程度	小	
出典・調査	千葉県環境研究センター、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

千葉県環境研究センター第２報

道路の亀裂（北向かい）（位置図の③）

アスファルトの臣渡り状態（位置図の⑥）

水が出ている部分はまだ、耕されていない。（位置図の⑨）

道路の亀裂（南向かい）（位置図の①）

水路の座屈防止のために丸太で突っ張っている。（位置図の④）

噴砂と思われる変色部（位置図の⑦）

館山市大井の農道の損傷（位置図の⑩）

道路の亀裂（南向かい）（位置図の②）

水路の右ずれ（位置図の⑤）

灰色部分があるが既に耕されている。（位置図の⑧）